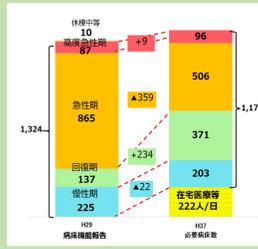


急性期の過剰、回復期の不足が見込まれている現状において、H29病床機能報告で急性期と報告のあった病院の診療実績等を比べ、高度急性期・急性期・回復期・慢性期について、H37必要病床数の姿に近づくための議論の参考として作成。



区分	H37 必要病床数	H29 病床機能報告	診療所計	病院計	病院別								
					十和田市立中央病院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院	
高度急性期	96	87	87	87	87								
急性期	506	865	86	779	182	220	84	120	60	60	53		
回復期	371	137	55	82	46		36						
慢性期	203	225	53	172				31			57	84	
休棟中等		10	0	10	10								
計	1,176	1,324	194	1,130	325	220	120	151	60	60	110	84	

(考察)
 ・ 将来の必要病床数と直近の病床機能報告の結果を比べると、高度急性期と慢性期に近い形となっているが、急性期が多く回復期が少ない。
 ・ 現在、入院医療で対応している患者のうち将来的に在宅医療へ移行することが可能と考えられる患者は、平成37年で222人と推計されており、新たに在宅医療の提供体制の整備が必要である。

1. 入院患者数

	十和田市立中央病院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
入院患者数(※1 1日あたり)	236	171	76	118	51	45	95	47
病床利用率(※2 入院患者数/病床数(休棟中等除く))	74.9%	77.7%	63.3%	78.1%	85.0%	75.0%	86.4%	56.0%

(考察)
 ・ 病床利用率が8割を上回っているのは十和田第一病院、ちびき病院の2病院である。

2. 算定する入院基本料届出病床数

	十和田市立中央病院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
一般病棟7対1入院基本料	279							
一般病棟10対1入院基本料		169	84	120	60	60	53	
地域包括ケア病棟入院料1	46	51	36					
地域包括ケア入院医療管理料1				(44)				
療養病棟入院基本料1				31			57	84
合計	325	220	120	151	60	60	110	84

(考察)
 ・ 急性期と報告のあった病棟について、十和田市立中央病院のみが一般病棟7対1入院基本料の届出をしている。

3. 認定・届出等

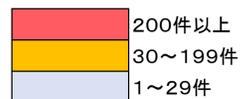
(項目の解説)		十和田市立中央病院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。I群が大学病院本院、II群が大学病院本院に準じる病院、III群がそれ以外の病院であることを示します。	III							
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療機関を三次救急医療施設と呼びます。	○	○	○	○	○			
二次救急医療施設の認定の有無		○	○	○	○				
三次救急医療施設の認定の有無									
特定機能病院の承認の有無	特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた病院として、厚生労働大臣が承認した病院をいいます。								
地域医療支援病院の承認の有無	地域医療支援病院とは、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として、都道府県知事が承認した病院をいいます。								
総合入院体制加算の届出の有無	総合入院体制加算とは、十分な人員配置および設備等を備え総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる体制等を確保している病院のことです。								
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院のことです。								
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。	○	○						

(考察)
 ・ 十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院が在宅療養後方支援病院の届出を行っている。



区分	H37 必要病床数	H29病床 機能報告	診療所計	病院計	十和田市立中央病 院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病 院	十和田第一病 院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
高度急性期	96	87		87	87							
急性期	506	865	86	779	182	220	84	120	60	60	53	
回復期	371	137	55	82	46		36					
慢性期	203	225	53	172				31			57	84
休棟中等		10	0	10	10							
計	1,176	1,324	194	1,130	325	220	120	151	60	60	110	84

4. 手術の状況



1. 手術件数は、平成29年6月診療分(1ヶ月間)の値
2. * の表示は値が10件未満であることを示す。

		(項目の解説)	十和田市立中央病 院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病 院	十和田第一病 院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
手術総数		手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	198件	146件	28件	31件	13件	19件	15件	0件
臓器別の 状況	皮膚・皮下組織		*	*	*	*	13件	*	0件	0件
	筋骨格系・四肢・体幹		29件	*	30件	11件	0件	19件	0件	0件
	神経系・頭蓋		0件	*	*	0件	0件	*	0件	0件
	眼		10件	0件	*	*	0件	0件	0件	0件
	耳鼻咽喉		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	顔面・口腔・頸部		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	胸部		*	*	0件	*	0件	0件	0件	0件
	心・脈管		14件	14件	0件	*	0件	0件	0件	0件
	腹部		99件	77件	*	13件	0件	0件	15件	0件
	尿路系・副腎		*	12件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	性器		10件	12件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
歯科		*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
全身麻酔の手術件数		全身麻酔を用いて手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	60件	49件	17件	*	0件	17件	*	0件
臓器別の 状況	皮膚・皮下組織		*	*	0件	0件	0件	*	0件	0件
	筋骨格系・四肢・体幹		18件	*	16件	*	0件	15件	0件	0件
	神経系・頭蓋		*	0件	*	0件	0件	*	0件	0件
	眼		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	耳鼻咽喉		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	顔面・口腔・頸部		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	胸部		*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	心・脈管		*	*	0件	*	0件	0件	0件	0件
	腹部		25件	36件	*	*	0件	0件	*	0件
	尿路系・副腎		*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	性器		10件	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
歯科		*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
人工心肺を用いた手術		人工心肺を用いた手術とは、心臓手術などの際に心臓と肺の機能を代行する装置を用いて行う手術です。値はこの手術を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
胸腔鏡下手術		胸部を切り開くことはせず、胸部に開けた小さな穴から、胸部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「きょうくきょうかしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
腹腔鏡下手術		腹部を切り開くことはせず、腹部に開けた小さな穴から、腹部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「ふくくきょうかしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数です。	21件	16件	*	0件	0件	0件	0件	0件

(考察)

- 急性期と報告のあった7病院のうち、1ヶ月の手術件数が30件以上の病院は、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立野辺地病院の3病院である。
- 全身麻酔の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立七戸病院、公立野辺地病院、十和田東病院、ちびき病院の6病院である。



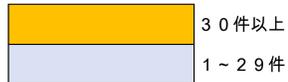
区分	H37 必要病床数	H29病床 機能報告	診療所計	病院計	十和田市立中央病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
高度急性期	96	87		87	87							
急性期	506	865	86	779	182	220	84	120	60	60	53	
回復期	371	137	55	82	46		36					
慢性期	203	225	53	172				31			57	84
休棟中等		10	0	10	10							
計	1,176	1,324	194	1,130	325	220	120	151	60	60	110	84

1. 手術件数は、平成29年6月診療分(1ヶ月間)の値
 2. *の表示は値が10件未満であることを示す。

5. がん、心筋梗塞、分娩への対応状況

(がん)

(項目の解説)



		十和田市立中央病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
悪性腫瘍手術	悪性腫瘍手術とは、がんを取るための手術です。値は手術を行った患者数です。	*	12件	0件	0件	0件	0件	*	0件
病理組織標本作製	病理診断とは、患者の身体から採取した細胞や組織等を観察し、病気の確定診断をすることをいいます。病気の早期発見や治療方針の選択、治療効果の判定等にも役立ちます。値は病理診断に必要な標本(細胞の組織片等)を作成した患者数です。	75件	78件	*	*	*	*	*	0件
術中迅速病理組織標本作製	術中迅速診断とは、病気の良性・悪性の判断や切除範囲を決めるため、手術中に病理診断をすることをいいます。そのための病理組織標本作製を、手術中に行った患者数です。	*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
放射線治療	放射線治療とは、がん放射線を当てる(照射する)ことで、がんを縮小させる治療を放射線治療といます。値は放射線治療を行った患者数です。	*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
化学療法	化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。値は化学療法を行った患者数です。(ここでいう抗がん剤とは、総務大臣が定める日本標準商品分類における「8742腫瘍用薬」に指定されている医薬品のことを指します。)	22件	19件	*	*	0件	0件	*	0件
がん患者指導管理料1及び2	がん患者指導管理料は、がんの患者が、診断結果や治療方法を理解し、納得のいく治療方針を選択できるよう、専門的な研修を受けた医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行っていることを示す項目です。値は相談や指導を行った患者数です。	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	抗悪性腫瘍剤局所持続注入は、がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)等を用いて動脈や静脈等に抗がん剤を持続的に注入する治療です。値はこの治療を行った患者数です。	*	17件	*	*	0件	0件	*	0件
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入は、肝臓がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて肝動脈内に抗がん剤を投入する治療方法をいいます。同時に、動脈の血流を遮断する物質を注入することで、肝臓のがんを殺す治療です。値はこの治療を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(心筋梗塞)

(項目の解説)

		十和田市立中央病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行った患者数です。	*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(分娩)

(項目の解説)

		十和田市立中央病院	三沢市立三沢病 院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	分娩を行った患者数です。	0件	22件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(考察)
 ・ 悪性腫瘍の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、ちびき病院の3病院である。
 ・ 心筋梗塞(経皮的冠動脈形成術)の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の2病院である。
 ・ 分娩取扱を行っているのは、三沢市立三沢病院のみである。



- 診療実績等のデータは平成29年6月診療分(1ヶ月間)の値
- *の表示は値が10件未満であることを示す。
- 「休日に受診した患者延べ数」、「夜間に受診した患者延べ数」、「救急車受入件数」については、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間の件数

6. 救急医療の実施状況

750件以上（社会医療法人の認定要件：夜間・休日 救急車受入件数 = 年750件以上）
1～750件

(項目の解説)		十和田市立中央病院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
院内トリアージ実施料	院内トリアージ実施料は、夜間や休日、深夜に受診した救急患者に対し、その緊急度に応じて、診療の優先順位付け(院内トリアージ)を行っていることを示す項目です。値はトリアージを行った患者数です。	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
夜間休日救急搬送医学管理料	夜間休日救急搬送医学管理料は、夜間や休日等の救急搬送に対応していることを示す項目です。値は、深夜、休日等に救急車や救急医療用ヘリコプター等で搬送され、診療を行った患者数です。	*	*	*	*	0件	0件	0件	0件
精神科疾患患者等受入加算	精神科疾患患者等受入加算は、夜間や休日等に救急搬送される急性薬物中毒の患者に対応していることを示す項目です。値は、夜間や休日等に搬送された患者のうち、過去6月以内に精神科の受診歴がある患者や、急性薬物中毒(アルコール中毒は除く)と診断された患者数です。	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
救急医療管理加算1及び2	救急医療管理加算は、意識障害、昏睡等の重篤な状態の患者の緊急入院を受け入れていることを示す項目です。値は休日又は夜間に緊急入院し、救急医療を行った患者数です。	230件	64件	65件	59件	13件	0件	0件	0件
在宅患者緊急入院診療加算	在宅患者緊急入院診療加算は、在宅での療養中に病状が急変し、入院が必要となった場合に、患者の意向を踏まえた医療が引き続き提供されるよう、他の医療機関と連携する取組を行っていることを示す項目です。値は、他の医療機関の求めに応じて緊急入院を受け入れた患者数です。	0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
休日に受診した患者延べ数	休日に受診した患者延べ数は、休日(日曜、祝日、年末年始)に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	2,939人	3,046人	852人	1,422人	568人	157人	107人	13人
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数		473人	294人	190人	122人	189人	*	36人	*
夜間・時間外に受診した患者延べ数	夜間・時間外に受診した患者延べ数は、夜間・時間外(医療機関が表示する診療時間以外の時間(休日を除く))に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	4,128人	4,593人	1,059人	819人	363人	26人	108人	12人
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数		834人	680人	181人	106人	156人	0人	48人	*
救急車の受入件数	救急車の受入件数は、救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数です。	2,399件	1,481件	433件	551件	205件	*	64件	0件
救命のための気管内挿管	気管内挿管は、気道確保を行うためのチューブ等を口や鼻から挿入する処置です。値は救命措置として気管内挿管を行った患者数です。	*	*	0件	*	0件	0件	0件	0件
体表面ペースティング法又は食道ペースティング法	体表面・食道ペースティングは、胸部または食道内に電極をおき、電極を介して心臓を電気刺激する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
非開胸的心マッサージ	非開胸的心マッサージは、胸部を開く等の手術を伴わない、一般的な心臓マッサージを行う処置です。値は処置を行った患者数です。	*	*	*	0件	*	0件	0件	0件
カウンターショック	カウンターショックは、心停止した患者に対し、AEDや専門の医療機器等を用いて、心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻す処置です。値は処置を行った患者数です。	*	*	0件	0件	0件	0件	0件	0件
心膜穿刺	心膜穿刺は、心臓を覆う心膜に針等を刺し、心臓に貯まった水を排出する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
食道圧迫止血チューブ挿入法	食道圧迫止血チューブ挿入法は、食道静脈瘤からの出血に対し圧迫止血の目的でチューブを挿入する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

(考察)

- 救急車受入件数が年間750件を超えている病院は、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の2病院である。



7. リハビリテーションの実施状況

項目	30件以上	1～29件	病院別							
			十和田市立中央病院	三沢市立三沢病院	公立七戸病院	公立野辺地病院	十和田第一病院	十和田東病院	ちびき病院	三沢中央病院
疾患別リハビリテーション料			131件	57件	41件	40件	138件	65件	*	0件
心大血管疾患リハビリテーション料			0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
脳血管疾患等リハビリテーション料			27件	*	0件	*	22件	0件	0件	0件
廃用症候群リハビリテーション料			*	0件	0件	0件	37件	0件	0件	0件
運動器リハビリテーション料			58件	48件	41件	34件	43件	65件	*	0件
呼吸器リハビリテーション料			0件	0件	0件	*	34件	0件	*	0件
障害児(者)リハビリテーション料			0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
がん患者リハビリテーション料			0件	0件	0件	0件	*	0件	0件	0件
認知症患者リハビリテーション料			0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
早期リハビリテーション加算(リハビリテーション料)			95件	41件	37件	31件	83件	52件	*	0件
初期加算(リハビリテーション料)			61件	13件	34件	29件	77件	34件	0件	0件
摂食機能療法			*	0件	0件	*	42件	0件	0件	0件
リハビリテーション充実加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)			0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
休日リハビリテーション提供体制加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)			0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
入院時訪問指導加算(リハビリテーション総合計画評価料)			0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

平成29年度 病床機能報告結果 (診療実績等) における考察部分の再掲

(各医療機能区分の病床数について)

- ・ 将来の必要病床数と直近の病床機能報告の結果を比べると、高度急性期と慢性期が近い形となっているが、急性期が多く回復期が少ない。
- ・ 現在、入院医療で対応している患者のうち将来的に在宅医療へ移行することが可能と考えられる患者は、平成37年で222人と推計されており、新たに在宅医療の提供体制の整備が必要である。

(入院患者数について)

- ・ 病床利用率が8割を上回っているのは十和田第一病院、ちびき病院の2病院である。

(算定する入院基本料届出病床数について)

- ・ 急性期と報告のあった病棟について、十和田市立中央病院のみが一般病棟7対1入院基本料の届出をしている。

(認定・届出等について)

- ・ 十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院が在宅療養後方支援病院の届出を行っている。

(手術の状況について)

- ・ 急性期と報告のあった7病院のうち、1ヶ月の手術件数が30件以上の病院は、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立野辺地病院の3病院である。
- ・ 全身麻酔の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、公立七戸病院、公立野辺地病院、十和田東病院、ちびき病院の6病院である。

(がん、心筋梗塞、分娩への対応状況について)

- ・ 悪性腫瘍の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院、ちびき病院の3病院である。
- ・ 心筋梗塞（経皮的冠動脈形成術）の手術を行っているのは、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の2病院である。
- ・ 分娩取扱を行っているのは、三沢市立三沢病院のみである。

(救急医療の実施状況について)

- ・ 救急車受入件数が年間750件を超えている病院は、十和田市立中央病院、三沢市立三沢病院の2病院である。